

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	灸実技 4	
科目基礎情報							
開設学科	鍼灸科		コース名			開設期	後期
対象年次	2年次		科目区分	必修		時間数	30時間
単位数	1単位		授業形態	実習			
教科書/教材	東洋療法学校協会 指定教科書						
担当教員情報							
担当教員	安齋 勉			実務経験の有無・職種		有・鍼灸師	
学習目的							
学生が前期で獲得したお灸の技術を踏まえ、実際の臨床の現場や患者に対応できるような治療法を学ぶことを目的とする。取穴の正確性、スピードも合わせて身に着ける。深谷灸法の奥深さを理解することも目的とする。基礎技術が鈍らないことも目的とする。自分の体にたくさんのお灸を様々な同級生にすえられることにより、自分の技術との違いを確認することにより、競争意識が芽生え、さらなる技術の向上を目的とする。							
到達目標							
①深谷灸法の特徴が理解できる。②各疾患ごとの特徴を理解し、対応したお灸法を行う。③課題の経穴の取穴法と手際よく行える手順を調べ、考えてきたことが確認できる。④時間制限を設けることで予習の振り返りかできる。⑤竹筒を使った基礎練習は毎回必ず行い、スピード、ひねりの硬さなどの確認作業を行う。							
教育方法等							
授業概要	毎回の5分間竹筒を使った、基礎練習は必ず行い、ここで自身のひねりの硬さも確認する。深谷灸法で紹介されている、各疾患の特徴を話す。各疾患の特効穴が書いてあるシートに、調べてきた取穴、治療イメージを30分で交互にやらせる。毎回の反省点を課題とともに提出させ、コメントと合わせ返却し、スキルアップをはかる。						
注意点	授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。 課題は、本科の規則に従った形式で提出する。特定の指示が有る場合を除いて、手書きでの作成を原則とする。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	90%	宿題提出状況、授業態度、欠席（減点）も加味する				
	小テスト	10%	筆記試験				
	レポート	0%					
	成果発表 （口頭・実技）	0%					
	平常点	0%					
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	深谷灸法について。呼吸器疾患			深谷灸法について理解できる			
2回	呼吸器疾患2（気管支炎、喘息）			呼吸器疾患（気管支炎、喘息）の灸法が理解できる			
3回	消化器疾患（胃疾患）			消化器疾患（胃疾患）の灸法が理解できる			
4回	消化器疾患（腸疾患）全身施灸（30分以内）			消化器疾患（腸疾患）の灸法が理解できる			
5回	運動器疾患 全身施灸（30分以内）			運動器疾患の灸法が理解できる			
6回	神経痛 全身施灸（30分以内）			神経痛の灸法が理解できる			
7回	目、耳疾患 全身施灸（30分以内）			目、耳疾患の灸法が理解できる			
8回	口腔、鼻疾患 全身施灸（30分以内）			口腔、鼻疾患の灸法が理解できる			
9回	婦人科疾患 全身施灸（30分以内）			婦人科疾患の灸法が理解できる			
10回	小児科疾患			小児科疾患の灸法が理解できる			
11回	進級認定実技試験の練習			進級認定実技試験の問題点が確認できる			
12回	奇穴 全身施灸（30分以内）			奇穴の灸法が理解できる			
13回	奇穴2 全身施灸（30分以内）			奇穴2の灸法が理解できる			
14回	ペア同士で体調に合わせた治療			相手に合わせた灸法を考えられる			
15回	総合練習			今季の授業で身に着けた灸法が確認できる			